

JA実践事例紹介

現場で汗を流す仲間たちに 届けたい

新刊
『実践事例に学ぶ これからのJAファンづくり』

小川理恵

一般社団法人日本協同組合連携機構 基礎研究部長・主席研究員

家の光図書『実践事例に学ぶ これからのJAファンづくり』(2026年3月)が刊行された。本書は『JA教育文化Web』の好評連載「JA実践事例紹介」の内容を中心に再編成したものである。その特長と活用方策について、取材・執筆を務めた日本協同組合連携機構より、小川基礎研究部長に寄稿いただいた。



家の光協会
定価：1,650円(税込)

■ 1. なぜ私たちは「ファンづくり」に取り組むのか

協同組合の特徴の1つとして「活動」と「事業」という2つの側面を持つことが挙げられる。2024年10月の「JA全国大会決議」の副題に「協同活動と総合事業の好循環」が掲げられているのは、JAグループの機動力が、活動と事業の両輪で成り立っていることを示している。

本書がテーマとしている「ファンづくり」は、「事業」利用から生まれるロイヤリティなどとはやや異なり、主に「活動」の分野で実現される。しかし、厳しい経営状況と、深刻な人員不足に直面するなか、収入に直結する「事業」に、より

多くの人材をシフトせざるを得ないJAもある。「活動」は、直接的な成果が見えにくく、時には担当する職員自身が、己の業務の意義を見いだせずに悩むことさえあることが容易に想像できる。

余談となるが、筆者は「調査・研究」を生業としている。大きな収入には至らない業務も多く、時折「私の仕事は誰かの役にたっているのだろうか？」と自問自答を繰り返すこともある。もしかしたら、「活動」に取り組む職員さんたちと筆者は、同じ思いを共有する仲間同士なのかもしれない。

そもそもなぜ、JAでは「活動」が必要なのだろうか。筆者は、本書の取材のなかで、その疑問に明快に答えてくださる方に出会うことができた。

JAとぴあ浜松のファーマーズ・マーケット(FM)白脇店の原田店長は、一般のスーパーマーケットの店長から転職されてきた方である。その経験から、スーパーと比較して、JAが運営するFMならではの有意性を見いだされていた。JAの有意性——それは「活動があること」だと原田店長はきっぱりとおっしゃった。「活動の積み重ねから、徐々にファンを増やし、売り上げを伸ばすのがFM。それが一般のスーパーとの大きな違いであり、他には真似できない強みです」という原田店長の言葉には、JAがなぜ「活動」に取り組むのかという問いへの答え、そして「ファンづくり」の本質的な意義が凝縮されているように思えた。実際に同JAでは、JA女性部とFMがコラボして、「お買い物体験 はじめてのおつかい」の活動を展開しており、その取り組みが、これまでJAとかかわりの薄かった若い母親とその家族が、JAに接近するための「入り口」となっていた。そしてその「入り口」から、新たな「ファンづくり・仲間づくり」が実現していたのである(詳細は、本書第5章・事例21を参照)。



著者が取材したJAとぴあ浜松「はじめてのおつかい」。FMと女性組織がコラボした取り組みにより、活動と事業の好循環を生み出している

■ 2. 課題を整理しヒントを見つけるための「相談相手」に

さて、「ファンづくり」と一言で言っても、その種類や実践方法は多岐にわたる。忙しい担当者にとって、今何が課題で、何から取り組めばいいのかを整理すること自体が難しいのが現状であろう。そこで本書の出番である。本書では、組合員や地域住民との新たな関係性の構築やJAファンづくりをどう進めるか、という問題意識を主軸に、JAの現場で欠かすことのできない6つのテーマを取り上げ、テーマに沿った27の優れた実践事例を紹介している。

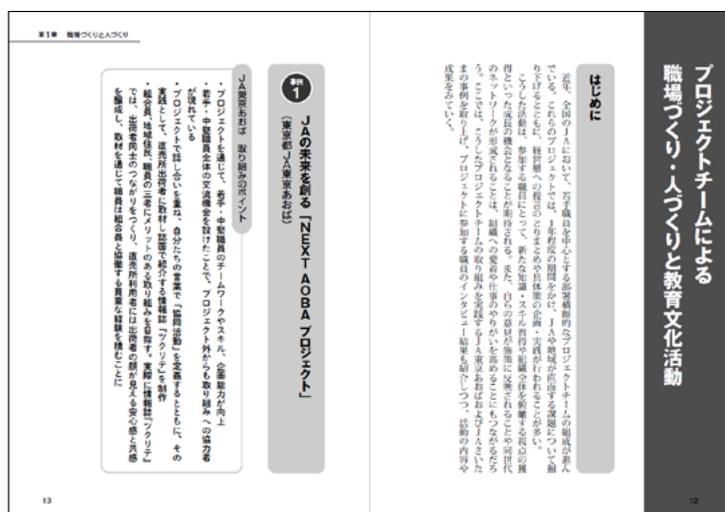
執筆陣が特にこだわったのが、結果だけでなく、プロセスを詳細に描き出すことである。なぜならば、本書を単なる「知識の習得」に終わらせるのではなく、「実践への第一歩」にさせていただきたいからだ。

次に「読み方」のヒントをお伝えしたい。冒頭から最後まで、本書のすべてを一気に読む必要はない。まずは目次を見て、一番興味を持った見出しを選び、そのページから読み始めればよいと思う。

「そもそも本を読む暇もない」と嘆く職員さん、ご安心を。それぞれの事例の冒頭では、「取り組みのポイント」を短いセンテンスで整理している。この「取り組みのポイント」を先にチェックし、もっと知りたいと思ったら、本文へと読み進む。段階を経た読み方をすることで、ポイントを押さえた上で、取り組みの全体像をより深く理解し、自らの業務に活かすヒントを得ていただけるのではないかと思う。

また、すべての事例の「取り組みのポイント」のみを抜き出して読む、ファンづくりに取り組む担当者が集まって読み合わせ会をする、という利用方法だってある。読み方も使い方も自由だ。

単なる「事例集」ではなく、困ったときに寄り添う「相談相手」——それが本書の役割である。読後に「この取り組みについてもっと知りたい」と思ったら……それこそがあなたにとっての新たな一歩である。



本書では事例の冒頭で「取り組みのポイント」を紹介

役職員研修に
おすすめ

組織基盤強化・
JA仲間づくり戦略がよくわかる!

実践事例に学ぶ

これからの JAファンづくり

日本協同組合連携機構(JCA)・著

全国のJAにおける職員教育や次世代対策、
女性組織活動など、さまざまな教育文化活動の事例を紹介。
「JA離れ」や「わがJA意識の希薄化」という課題に
直面した今、本書で取り上げる事例を、
“新たな関係性づくり”のヒントにしてください。



定価:1,650円(税込)
A5判・並製・256頁(52209)

2026年
3月発行

第1章 職場づくりと人づくり

JA東京あおば/JAさいたま
JAみやぎ仙南/JAセレサ川崎
JA東京むさし

第2章 支店協同活動と JAファンづくり

JAみやぎ仙南/JA新みやぎ
JAしまね/JA東京中央

第3章 組合員の 学びあう場をつくる

JAみっかび/JAはだの/JAマインズ

第4章 多様化する組合員 地域住民とのつながりづくり

JA北つくば/JA京都やましろ/JA兵庫南
JA邑楽館林/JAひがしみの/JAかみつが

第5章 JAが行う 魅力的な食農教育とは

JAレーク滋賀/JAいしのまき
JAとぴあ浜松/JAいずみの

第6章 女性の活躍と これからのJA

JAうつのみや/JAふくしま未来
JAしみず/JA糸島/JAいちかわ



申込欄

〈お申込はお近くのJAへ〉

JA

御中

年 月 日

申 込 書	実践事例に学ぶ これからのJAファンづくり 日本協同組合連携機構(JCA)・著 定価:1,650円(税込) A5判・並製・256頁(52209)		部
	お名前	お電話番号	
	ご住所 〒		

お支払い方法

座振替・現金

※いただいた個人情報は本書の
注文以外には使用いたしません。
※ご住所、電話番号については
ご記入いただける範囲で結構です。